

(公財)静岡県国際交流協会 創立30周年記念 先進事業表彰 応募用紙(記入例)

1. 団体について

(ふりがな)	しずおかけんこくさいこうりゅうきょうかい			
団体名	(公財)静岡県国際交流協会			
(ふりがな)	職名:	かいちょう	氏名:	たかがい りょう
代表者職氏名		会長		高貝 亮
(ふりがな)	職名:	そうむかちょう	氏名:	かやま いそこ
担当者職氏名		総務課長		加山 勤子
設立年月日	1989年 11月 1日			
会員・メンバー数	個人会員 224人 団体会員 25団体 (平成30年3月31日現在)			
連絡先	住所:	〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階		
	TEL:	054-202-3411	FAX:	054-202-0932
	e-mail:	info@sir.or.jp		
	URL:	http://www.sir.or.jp		

2. 応募事業について

応募部門 該当部門に☑してください	<input checked="" type="checkbox"/> 国際理解・交流推進部門 <input type="checkbox"/> 多文化共生推進部門		
取組名(事業名)	国際理解教育／アース(明日)カレッジ		
総事業費	700,000 円	助成金を活用している場合は助成金額	円
共催・連携団体 (だれと?)	NPO法人開発教育FUNCLUB、静岡県、JICA、静岡市葵生涯学習財団		
取組の背景 (きっかけや経緯、理由)	静岡県の外国人住民は増加の傾向にあり、地域社会の構成員として重要な役割を担うことが期待されている。一方で、外国人が同じ地域に住んでいても、日本人住民同士のような地域での交流やおつきあいが進んでいないのが現状である。これからの社会では、国籍や年代、性別に限らず、多様な考えを受け入れ、尊重する力が求められることから、「知り」「考え」「行動する」過程を育む教育である国際理解教育に取組んでいる。 「学校」や「職場」などとは違う、「地域の学校」で様々な人たちが出会える場を提供し、共に学び、共に考えることの重要性を認識する事業としたい。		
取組の目的	国際理解教育は、人権、環境、平和などあらゆる問題について、「知り」「考え」「行動する」過程を育む教育である。 国籍、年代、性別等、多様な参加者が集い、楽しい学びやこれから取組まなければいけない地域の課題や地域の課題と世界の課題とのつながりなど、様々な気づきや多様な価値観や新しい発想などを考える場を提供するとともに、学びを通して、多様性を受け入れる力を育み、多文化共生社会を構築する一助となることを目指す。		
取組概要 (いつ(から)、どこで、 どんな内容 を実施しましたか?)	地域の学校「アース(明日)カレッジ」。「誰もがセンセイ、誰もがセイト」をコンセプトに、毎年2日間にわたり、アイセル21で開講している。学校の先生をはじめ小学生から大学生、外国人や働いている人、サークルや様々な場で活動している魅力的な「まちのセンセイ」が、ジャンルの枠を超えて日頃の思いや活動などを紹介している。1コマを1時間程度とし、1時間目から3時間目まで、1日約30講座、全体で60講座+映画などの特別プログラムを実施している。 平成30年度は、特別プログラムとして、静岡から音楽の本場 ウィーンで学んでいるヴァイオリニストによるコンサートや、食育をテーマとした「いただきます」の上映会などをはじめ、企業の方による「自動車の構造を理解する」量店による「量表でコースター作り」、高校生「天文～宇宙旅行へ行こう」、特別支援学校による「ハンディキャップサッカー」ふじのくに親善大使による「留学生とおしゃべりしませんか」「世界のランチ、スリランカ編」など、62の講座を紹介した。延べ1,200名の皆さんが、おのおの興味のある講座に参加し、熱心な「センセイ」の教室を受講した。クラス終了後には、感想などを共有し、この講座を選んだ理由や気付いたことなど意見を聞き、さらに学びが深まったようだった。		

<p>取組の特色や特徴</p>	<p>地域の方たちとの交流が少ない高校生や大学生たちの参加を呼びかけるため、学校を訪問し、興味や関心のあるテーマなどの聴き取りや、「センセイ」をリクルートしている。</p> <p>29年度には、韓国に興味を持つ高校生をみつけ、韓国をテーマに多彩な連続講座を開催した。韓国人による文化紹介(韓国の受験戦争について、子どもたちの生活の様子)、kpopが大好きな高校生によるkpop講座、そして、この授業のために、韓国から訪問団が来日、テコンドーの演舞とワークショップを行い、人気講座を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多彩な顔ぶれが集まった。「みんながせんせい、せいと」 ・ 先生(講師)の最年少は、小学生による「こども落語」、最年長は82才によるお抹茶の講座など年齢層が幅広い。 ・ 講師の出身国数は(10)か国 韓国、ネパール、ベトナム、インドネシア、英国、アメリカ、フィリピン、中国、ミャンマー、ブラジル、日本など、多国籍。
<p>取組の実績 (どのような成果や効果がありましたか?)</p>	<p>毎年夏休みに静岡市で開講。このような「学びの場」としての開催は、今年で5年目を迎えた。初年度は、1日に30講座、450名の受講者数だったが、4年目の29年度には、2日間で60教室数となり、約1,000人が受講する大きなイベントになり、アース(明日)カレッジのイベントの認知度は高まっている。</p> <p>「センセイ」の希望者も増え、ボランティア、関係者を含め、100名程度が協力して、このイベントを支えてくれている。受講した「セイト」から、次回は「センセイ」をやりたい、今後連携したいなど、学びの場としての広がりを実感している。</p>
<p>取組終了後の展開／継続中の取組については今後の展開</p>	<p>毎年関心、興味があるテーマを選び、継続して実施する予定。それぞれの教室に参加してくれた「セイト」同士の感想や意見交換ができる時間を設けるなど、参加者同士の交流の促進を図るなど、次の授業、明日の授業、来年度の授業を楽しみにしてもらえるような仕組みになればと思う。国籍、年代、性別などを超え、様々なジャンルで、共に学び、話し合う場を増やし、お互いの文化やアイデンティティを理解し、尊重する社会づくりに貢献したい。</p>
<p>この取組をはじめて知った人に向けてメッセージ</p>	<p>アース(明日)カレッジは、地球(earth)、の未来(明日)についてみんなで考える願いを込めてネーミングしました。地域の課題と世界の課題とのつながりや、外国人住民の生活や抱える課題などについても、日本人住民が、身近な問題、自分たちの問題として、一人でも多くの方に考えていただくきっかけになるとうれしいです。センセイ、セイトは常時募集を行っています。あなたもアース(明日)カレッジの一員になりませんか。興味のある方、連絡ください。</p>

※ 応募の際は、取組の様子が分かる写真を2点以上添えてご提出ください。